

東日本支部講演会・ウェビナー：テーマ「SDV」

演題：世界自動車メーカーのSDV戦略とパワーバランスの変化

講師：株式会社フォーイン 技術調査グループ チーフアナリスト 李 強福 氏

日時：2025年10月8日(水)14:30～16:00

会場：八芳園「2F 灯り AKARI」

〒108-8631 東京都港区白金台1丁目1-1

アクセス <https://happo-en.com/about/facility/>

Web参加：Zoomのウェビナーを使ったライブ配信セミナー



お申込みについて 視聴をご希望の方は以下の参加申込フォームから必要事項をご入力ください。

<https://www.japia.or.jp/koenkai251008/>

申込〆切：9月30日(火)まで

会場参加20名／Web参加500名 ※定員に達した場合は募集を終了させていただきます。

Web参加の方にはご登録をいただいたメールアドレスへ講演会前日までに視聴URLを送信します。

本件に関するお問合せ：JAPIA東日本支部 坪井 tsuboi@japia.or.jp

講演概要・講師略歴

演題：世界自動車メーカーのSDV戦略とパワーバランスの変化

講師：株式会社フォイン 技術調査グループ チーフアナリスト 李 強福 氏

講演概要

世界自動車産業におけるソフトウェアデファインドビークル（SDV）は、2010年代前半のGAFAで代表されるIT業界の自動車業界への参入で始まったCASE（Connect、Autonomous、Service、Electrification）の実現に向けてそれをよりソフトウェアの観点からアプローチしたものとみております。つまり、基本的な車両の技術的方向性は一定の路線で変わっていくとみられますが、ソフトウェアにより車両の活用方法が大きく変化するという点では、SDVはソフトウェア（+AI）次第で多様な可能性を持っていると言えます。その動きの一部が、Teslaのビジネスモデルと言えます。そしてそれを中国系OEMが追従し、自動車業界の競争構図を大きく変えようとしている訳です。もちろん、SDVへの課題もあります。自動車業界のすべてのプレーヤーがそういった動きに追いついていけるとは限りません。そのために、こういった戦略と補完が行われているかも認識する必要があります。本講演では、SDVについて基本的な技術的な軸、狙い、そして自動車・部品業界への影響と今後の課題についてご報告させていただきます。



< 講師略歴 >

- ・名古屋大学大学院博士後期課程満期退学後（社会学）、2010年フォインアジア調査部入社、2014年に同社アジア自動車調査月報の編集長、2016年に同社企画調査部シニアリサーチャーアナリスト、2023年4月 現職に着任。主な調査領域は、世界自動車産業のCASE軸の技術、戦略、キーカンパニー（Tesla、GAFA + M等）の戦略調査、サプライチェーン（eAxe、バッテリー、半導体）など。
- ・主な調査報告書として、Teslaの最新技術の内製開発と世界展開（2020年）、世界自動車産業におけるxEVバッテリー獲得競争（2021年、2024年）、電動車部品サプライチェーンシリーズ駆動モーター/インバーター（いずれも2023年）、Teslaの将来戦略（2024年）、世界自動車メーカーのSDV戦略と半導体の獲得競争（2024年）を発刊。